

あたくし組合が関わるプロジェクト

これまでにあたくし組合が行った、事業の一例をご紹介します。

Project 1 「春日大社境内の杉活用プロジェクト」

春日大社境内の風倒木および枯損木の福祉的活用

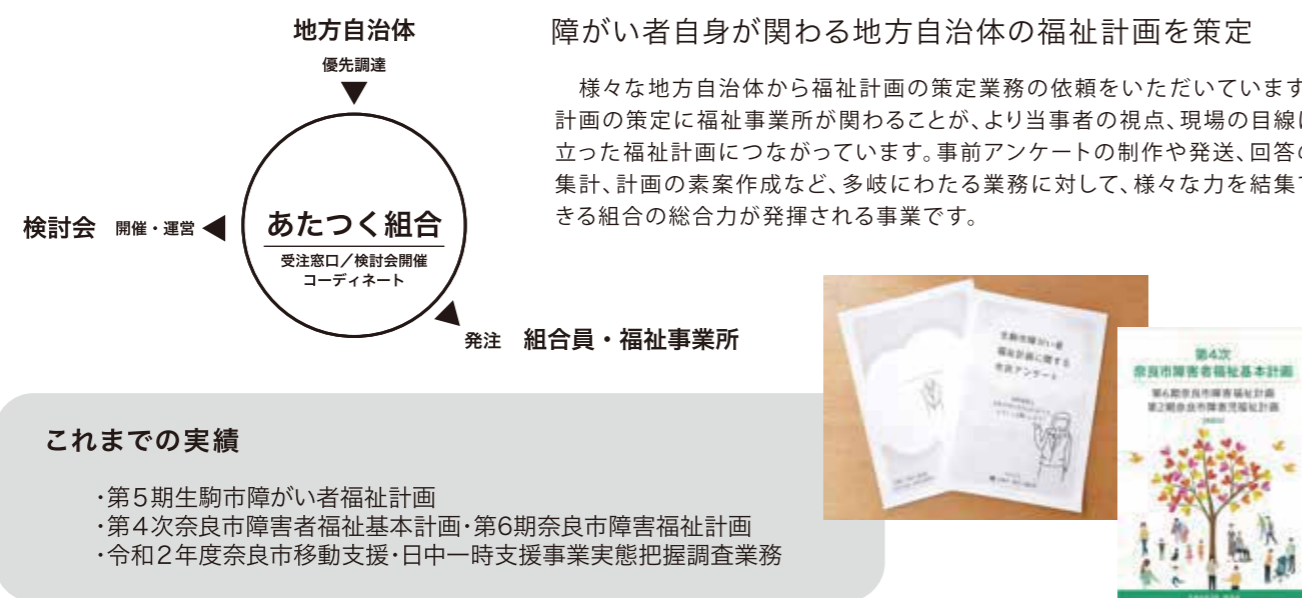
世界遺産である春日大社境内は御神域であるため、狩猟や伐採は禁じられています。しかしながら社の保全保守のためには、風倒木や枯損木は撤去する必要があり、社会福祉に役立てたいとの趣旨のもと、撤去した杉の木をご寄付いただきました。杉の木はその特徴的な木目を活かした商品となり、多くの福祉事業所の活動につながっています。



Project 2 「障がい者福祉計画策定」

障がい者自身が関わる地方自治体の福祉計画を策定

様々な地方自治体から福祉計画の策定業務の依頼をいただいています。計画の策定に福祉事業所が関わることが、より当事者の視点、現場の目線に立った福祉計画につながっています。事前アンケートの制作や発送、回答の集計、計画の素案作成など、多岐にわたる業務に対して、様々な力を結集できる組合の総合力が発揮される事業です。



Project 3 「未来の福祉ゼミ」

福祉事業所を支える人材を支える人材育成事業

人材育成の必要性は感じられていながら、日々の業務の中でなかなか手をつけられていないのが現状です。福祉事業所で働くチームリーダーのみなさんを対象に、現場ですぐに使える知識やスキル、ノウハウをお伝えしています。複数の事業所の職員が参加することで、交流の場にもなり、現場の支援を高めるキッカケになっています。



未来の福祉ゼミの動画ができました！

「セミナーの様子が知りたい」や「他の人に紹介したいけど説明しづらい」とのお声に応えて、未来の福祉ゼミの動画ができました。特設サイトからぜひご覧ください。

- 【内容】
- ・未来の福祉ゼミが目指すもの
 - ・未来の福祉ゼミのカリキュラム
 - ・参加者インタビュー ほか



特設サイトはこちら

Project 4 「なら就労系福祉と企業のセミナー交流会」

福祉と企業と自治体をつなぐ地域連携推進事業

奈良は福祉発祥の地であり、企業の障害者雇用率が日本一です。古都奈良で就労系福祉や企業や自治体が連携して奈良に貢献するために、ならセミナー交流会を開催しています。

障害者雇用の促進、優先調達制度の普及、福祉施設の仕事力の紹介をテーマに、2022年11月第1回目を開催しました。

